



ウィリアム・サンダー

イリノイ大学 ワンヘルス・イリノイセンター、
獣医臨床医学科（予防医学・公衆衛生学）准教授

イリノイ大学獣医学部において予防医学および公衆衛生学の准教授を務めるとともに、獣医学・公衆衛生学共同学位プログラムのディレクターを務めている。

ワンヘルスを中心とした専門職間連携教育（IPE）の充実に重点を置いており、現在、カール・イリノイ医科大学、獣医学部、応用健康科学部の学生を対象とした必修のIPEプログラムを担当している。また、医学部生および獣医学部生を対象とした「グローバル・ワンヘルス」選択科目を開講し、効グローバルな実務者としての実践的能力育成にも取り組んでいる。

イリノイ大学着任以前は、6年間にわたりワシントンD.C.で活動し、その間、米国環境保護庁（U.S. EPA）水質局にてアメリカ科学振興協会（AAAS）科学技術フェローとして2年間勤務した。その後3年間は国防脅威削減局（DTRA）の国際生物学的協力プログラムを支援した。また同時に、ワシントン D.C.の「One Health Academy」のディレクターも務めた。

さらに、ワシントン D.C.唯一の野生動物リハビリテーションセンターである「City Wildlife」において5年間スタッフ獣医師として勤務するとともに、VCA の小動物病院で4年間の臨床経験を積んだ。

サンダー博士は米国獣医予防医学会（American College of Veterinary Preventive Medicine）の専門医（Diplomate）であり、同協会の理事会（Executive Board）メンバーを務めた経歴を持つ。

現在は、イリノイ州獣医師会（Illinois State Veterinary Medical Association）および Veterinary Sustainability Alliance の理事を務めるほか、米国獣医師会（AVMA）代議員会におけるイリノイ州代表代理（Alternate Delegate）も務めている。また、過去には米国食品安全・公衆衛生獣医師協会（American Association of Food Safety and Public Health Veterinarians）の理事も歴任した。

2004年にコルビー大学で学士号を取得後、2009年にウィスコンシン大学獣医学部を卒業（DVM）。2011年にイェール大学にて公衆衛生学修士（MPH）を取得している。